

日本福音ルーテル教会 女性会連盟 第 21 期 141 号

会報



総主題

「キリストにつながる喜び」ー祈りあい、支えあうー

2010. 10. 15

発行 日本福音ルーテル
教会女性会連盟

〒169-0072 東京都新宿区
大久保 1-14-14

発行者 谷口 美樹

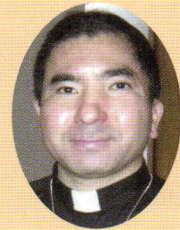
編集者 竹森 洋子

印刷 平山印刷出版

主題聖句

わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。わたしを離れては、あなたがたは何もできないからである。ヨハネ 15 章 5 節ー

あなたとつながる



もしもキリストのいない世界になったら

日本福音ルーテル浜松教会

牧師 花城裕一郎

私たちは、「いつもキリストにつながっていたい」と思っているでしょう。「キリストにつながる喜び」というものを、私たちはほとんど当たり前のよう

に受け止めていると思います。しかしそれは、実はそれほど当たり前のことではないだろうと、私は思います。

かつて大学生だった時に、ノンクリスチャンの後輩に、イエス・キリストについてどう思うか尋ねてみました。

すると、「僕はイエス・キリストって、正直、嫌いですね。確かに正しい人なんだろうけど、あまりにも正しすぎて、自分が責められている感じがするから、僕は嫌です。僕は自分の思うように、好き勝手に、自由に生きていきたい

です。」彼のような考え方、感じ方は、現代人にとってはむしろ普通

の感覚で、そのような人にとっては、「キリストにつながる」とは決して「喜び」ではないのです。

こうして考えてみると、「キリストにつながる」ことが「喜び」として感

じられること、このこと自体が、実は人間の業ではなくて、神様の働きなのだという思いに至ります。

「もしもキリストのいない世界になったらとしたら、あなたはどうしますか。」そう問われて、私は一瞬、頭の中が真っ白になったことがあります。その時私は思いました。「私にとって、キリストのいない世界というのは存在しないのだ」と。

キリストが存在しないならば、私の生きる意味も目的も、すべてが失われる。キリストがいるからこそ、今の私が存在している。そのような意味で、「キリストにつながる」とは、私たち

にとって「生きる意味・目的」そのものなのだと思えます。キリストにつながるってさえないれば、それはもうそれだけで、最高に価値ある人生なのだ。

そう信じている仲間と一緒に、祈りあい、支えあって生きていける、この幸

いを神様に感謝しつつ、共に生きていきましよう。